

管理栄養士国家試験 出題基準（ガイドライン）

『クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説2026』掲載問題対応表



●これは本書『クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説2026』に掲載されている問題が、
管理栄養士国家試験出題基準（令和5年1月5日発表）でどの項目に該当するか*をまとめた資
料です。学習のための参考資料としてご活用ください。

*複数項目に重複する内容を含む問題も多くございますので、あくまで目安としてご覧ください。
表中に該当する問題の記載がない場合でも、他の問題にその内容が含まれている場合がございます。

■ガイドラインの見方■

大項目：中項目を束ねる見出し。

中項目：大項目に示される範囲内の各論的知識。管理栄養士国家試験の出題の範囲となる事項。

小項目：中項目に関する内容をわかりやすくするためのキーワード。これは、大項目、中項目に
関連して出題される。出題範囲は記載された事項に限定されず、標準的な学生用教科書
に記載されている程度の内容を含む。

〈　〉：関連する出題基準を示す。主として〈　〉内の出題科目部分で基本的事項について出題
するが、その応用については当該出題科目でも出題する。

《　》：臨床栄養学において、疾患名については《　》内の出題科目部分を参照とする場合。

■掲載問題番号とページ番号の見方■

表中の大項目と中項目のアミかけ部分に問題番号とその掲載ページが記載されています。

例：問14001 p2 → 本書の2ページに掲載の14001番（2014年国試1番目）の問題

●社会・環境と健康

〈出題のねらい〉

○健康とは何か、そして人間の健康を規定する要因としての社会・環境に関する知識を問う。

○人々の健康状態とその規定要因を測定・評価し、健康の維持・増進や疾病予防に役立てる考え方とその取組についての理解を問う。

○保健・医療・福祉制度や関係法規の概要についての知識を問う。

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|--------------------|-----------------|--|--|
| 1 社会と健康 | A 健康の概念 | 24001 p3 | a 健康の定義 b 健康づくりと健康管理 |
| | B 公衆衛生の概念 | 18001 p7, 19001 p5, 21195 p887, 22001 p729, 23001 p4, 24137 p6, 25001 別冊p2 | a 公衆衛生と予防医学の歴史 b 公衆衛生の定義と目的 c 公衆衛生と予防医学；一次・二次・三次予防 d プライマリヘルスケア e ヘルスプロモーション f 公衆衛生活動の進め方；リスクアナリシス、マネジメントサイクル、地域診断 g 予防医学のアプローチ；ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、予防医学のパラドックス |
| | C 社会的公正と健康格差の是正 | 22002 p8 | a 社会的公正の概念 b 健康の社会的決定要因、健康格差 |
| 2 環境と健康 | A 生態系と人々の生活 | - | a 生態系と環境の保全 b 地球規模の環境 |
| | B 環境汚染と健康影響 | 14003 p9, 17002 p12, 19002 p11, 21001 p13 | a 環境汚染；大気汚染、水質汚濁、土壤汚染 b 公害 |
| | C 環境衛生 | 23003 p15, 24002 p14, 25002 別冊p2 | a 気候、季節 b 空気 c 温熱 d 放射線 e 上水道と下水道 f 廃棄物処理 g 建築物衛生 |
| 3 健康、疾病、行動に関する統計資料 | A 保健統計 | 19004 p16, 19158 p724 | a 保健統計の概要 |
| | B 人口静態統計 | 15004改 p18, 24003 p17, 25003 別冊p2 | a 人口静態統計と国勢調査 b 人口の推移；総人口、人口ピラミッド、人口指標 c 世界の人口 |
| | C 人口動態統計 | 21002 p19, 21004 p20, 22004 p23, 23004 p22, 25004 別冊p3 | a 人口動態統計と各指標の届出制度 b 出生 c 死亡 d 死因統計と死因分類（ICD） e 年齢調整死亡率；直接法、標準化死亡比 f 死産、周産期死亡、乳児死亡、妊娠婦死亡 |
| | D 生命表 | 20001改 p45, 23005改 p24 | a 生命表 b 平均余命と平均寿命 c 健康寿命 |
| | E 傷病統計 | 24004 p25 | a 患者調査 b 国民生活基礎調査 |
| | F 健康増進に関する統計 | - | a 国民健康・栄養調査 b レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）、国保データベース（KDB） |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|-----------------------|-------------------------------------|---|--|
| 4 健康状態・疾病の測定と評価 | A 疫学の概念と指標 | 15005 p27, 16198 p869, 17005 p26, 17186 p863, 17187 p863, 24005 p29 | a 疫学の定義、対象と領域 b 疾病頻度の指標：罹患率、累積罹患率、有病率、致死率、死亡率 c 曝露因子の影響評価；相対危険、ハザード比、オッズ比、寄与危険 |
| | B 疫学の方法 | 16005 p31, 20004 p31, 22005 p30 | a 記述疫学 b 横断研究 c 生態学的研究（地域相関研究） d コホート研究 e 症例対照研究 f 介入研究 g ランダム化比較試験 |
| | C バイアス、交絡の制御と因果関係 | － | a バイアス；選択バイアス、情報バイアス b 交絡と標準化 c 疫学研究の評価と因果関係のとらえ方、Hill の判定基準 |
| | D スクリーニング | 14008 p35, 17084 p34, 21005 p34, 22006 p36, 25005 別冊p3 | a スクリーニングの目的と適用条件 b スクリーニングの精度；敏感度、特異度、陽性反応の中度、ROC 曲線 |
| | E 根拠（エビデンス）に基づいた医療（EBM）及び保健対策（EBPH） | 17185 p863, 19006 p38, 24006 p30 | a エビデンスの質のレベル b 系統的レビューとメタアナリシス c 診療ガイドライン、保健政策におけるエビデンス |
| | F 疫学研究と倫理 | 18006改 p39, 25006 別冊p3 | a 人を対象とした研究調査における倫理的配慮：研究倫理審査 b インフォームド・コンセントとオプトアウト c 利益相反 |
| 5 生活習慣（ライフスタイル）の現状と対策 | A 健康に関連する行動と社会 | 21007 p41, 22144改 p45, 24007 p40, 24008 p43, 24142 p44, 25007 別冊p4, 25143 別冊p36 | a 健康の生物心理社会モデル b 生活習慣病、NCDs の概念 c 健康日本21（第二次）※ ※次期国民健康づくり運動開始後は、当該内容を含むこととする。 |
| | B 身体活動、運動 | 18007改 p50, 23007改 p49, 25008 別冊p4 | a 身体活動・運動の現状 b 身体活動・運動の健康影響 c 健康づくりのための身体活動基準及び指針 |
| | C 喫煙行動 | 19007 p51, 21008 p52, 22008改 p53 | a 喫煙の現状 b 喫煙の健康影響と社会的問題 c 禁煙サポートと喫煙防止 d 受動喫煙防止 e その他のたばこ対策 |
| | D 飲酒行動 | 18008 p54 | a 飲酒の現状 b 飲酒の健康影響と社会的問題 c アルコール対策と適正飲酒 |
| | E 睡眠、休養、ストレス | 20006改 p55 | a 睡眠と生活リズム b 睡眠障害と睡眠不足の現状、睡眠指針 c 休養の概念と休養指針 d ストレスの概念とストレスマネジメント |
| | F 歯科口腔保健 | 24009 p56, 25009 別冊p4 | a 虫・口腔の健康と食生活 b 虫・口腔と全身の健康 c 歯科口腔保健行動 d 歯科口腔保健対策 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|------------------------|--------------------------|--|---|
| 6 主要疾患の 疫学と予防 対策 | A がん | 18009 p41, 21009 p58, 22009 p57, 24010 p58, 25010 別冊p4 | a 主要部位のがん b がん対策；がん対策基本法, がん対策推進基本計画, がん登録, がんと就労 c がん検診 |
| | B 循環器疾患 | 20008 p60 | a 高血圧 b 脳血管疾患 c 心疾患 |
| | C 代謝疾患 | 23010 p61, 24011 p62 | a 肥満, メタボリックシンドローム b 糖尿病 c 脂質異常症 |
| | D 骨・関節疾患 | — | a 骨粗鬆症, 骨折 b 変形性関節症 c ロコモティブシンドローム |
| | E 感染症 | 18012 p66, 21010 p66, 23011 p63, 24012 p65, 25011 別冊p5 | a 主要な感染症 b 感染症法 c 検疫と予防接種, 感染症対策 |
| | F 精神疾患 | — | a 主要な精神疾患 b 精神保健対策 c 認知症 |
| | G その他の疾患 | 25012 別冊p5 | a CKD b 呼吸器疾患; COPD c 肝疾患 d アレルギー疾患 e 難病法と難病対策 |
| | H 自殺, 不慮の事故, 虐待, 暴力 | 13013 p68, 23012 p68 | a 自殺 b 不慮の事故 c 虐待, 暴力 |
| | A 社会保障の概念 | 19011 p69, 24013 p69, 25013 別冊p5 | a 社会保障の定義と歴史 b 公衆衛生と社会保障 |
| 7 保健・医療・ 福祉の制度 | B 保健・医療・福祉に おける行政のしくみ | — | a 国の役割と法律 b 衛生法規の定義とその内容 c 地方自治のしくみ; 地方自治法 d 都道府県の役割 e 市町村の役割 f 他職種の役割と連携 |
| | C 医療制度 | 19012 p73, 20015 p72, 21012 p70, 23014 p76, 24014 p75 | a 医療保険制度 b 医療施設と医療従事者 c 医療費 d 医療法と医療計画 e 保険者の役割とデータヘルス計画 |
| | D 福祉制度 | 19013 p77 | a 福祉制度の概要と関連法規; 児童福祉法, 身体障害者福祉法, 知的障害者福祉法, 障害者総合支援法, 老人福祉法 b 社会福祉 c 障害者福祉 d 在宅ケア, 訪問看護 |
| | E 地域保健 | 19014 p79, 22012 p78, 23015 p79, 25014 別冊p5 | a 地域保健活動の概要 b 地域保健法 c 保健所と従事者 d 市町村保健センターと従事者 e 地域における資源と連携 f 地域における健康危機管理; 自然災害, 感染症, 食中毒 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|-----|------------|--|--|
| | F 母子保健 | 22015 p80 | a 母子保健の概要 b 母子保健法 c 母子健康手帳 d 乳幼児健康診査 e 新生児マスククリーニング f 健やか親子21 g 少子化対策；子ども・子育て支援新制度 h 児童虐待防止 |
| | G 成人保健 | 13114 p82, 16160 p82, 17014 p81, 25015 別冊p5 | a 生活習慣病の発症予防と重症化予防 b 特定健康診査・特定保健指導とその評価 c 高齢者の医療の確保に関する法律 |
| | H 高齢者保健・介護 | 16015 p86, 22014 p84, 23016 p84, 24151 p89, 25016 別冊p6 | a 高齢者保健と介護の概要 b 介護保険法 c 介護予防 d 要介護認定とケアマネジメント e 地域包括支援センター f 介護施設、老人保健施設 g 地域包括ケアシステム |
| | I 産業保健 | 17015 p90, 18017 p90, 21016 p91, 24015 p93 | a 労働と健康 b 労働安全衛生法 c 労働安全衛生対策；作業管理、作業環境管理、健康管理 d 産業保健従事者 e 職業と健康障害；産業疲労、職業病、作業関連疾患 f 労働災害 g メンタルヘルス対策、過労死対策 |
| | J 学校保健 | 17016 p95, 24016 p94 | a 学校保健の概要 b 学校保健統計；身体発育、体力、健康状態 c 学校保健安全法 d 学校保健安全対策 e 学校保健従事者 f 栄養教諭 g 学校感染症 |
| | K 国際保健 | 20009 p10 | a 地球規模の健康問題 b 国際協力 c 持続可能な開発目標（SDGs） d ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC） e 国際機関；世界保健機関（WHO）、国連食糧農業機関（FAO）、コーデックス委員会（CAC） |

●人体の構造と機能及び疾病の成り立ち

〈出題のねらい〉

- 人体の構造や機能についての系統的な理解を問う。
- 主要疾患の成因、病態、診断及び治療についての知識を問う。

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|-----------------------------|---|---|
| 1 人体の構造 | A 人体の構成 19018 p107, 20017 p108, 22017 p109, 23017 p108, 24017 p103, 25017 別冊p6, 25036 別冊p9 | a 細胞、組織、器官 b 細胞内の構造と機能 c 細胞の増殖・分化 |
| 2 アミノ酸・たんぱく質・糖質・脂質・核酸の構造と機能 | A アミノ酸・たんぱく質の構造・機能 20018 p110, 21018 p112, 25018 別冊p6 | a アミノ酸 b ペプチド c たんぱく質 |
| | B 糖質の構造・機能 20048 p115, 22018 p114 | a 单糖類 b 少糖類 c 多糖類 d 複合糖質 |
| | C 脂質の構造・機能 18019 p118, 21019 p117, 23018 p119 | a 脂肪酸 b トリグリセリド c コレステロール d リン脂質 e 糖脂質 |
| | D 核酸の構造・機能 22019 p120, 23019 p121 | a ヌクレオチド b DNA c RNA d 遺伝情報の伝達と発現 |
| 3 生体エネルギーと代謝 | A 生体のエネルギー源と代謝 20020 p123, 24019 p124, 25019 別冊p6 | a 異化、同化 b ATP c 基質レベルのリン酸化 d 電子伝達系と酸化的リン酸化 e 脱共役たんぱく質(UCP) |
| | B 酵素 19022 p126, 21020 p127, 23020 p126 | a 酵素の分類 b 反応速度 c 活性の調節 d 補酵素、アイソザイム |
| 4 アミノ酸・たんぱく質・糖質・脂質の代謝 | A アミノ酸・たんぱく質の代謝 17022 p129, 21021 p131, 25020 別冊p6 | a たんぱく質の合成 b たんぱく質の分解 c アミノ酸の分解；炭素骨格代謝、窒素代謝 d アミノ酸に由来する生体物質 |
| | B 糖質の代謝 17023 p137, 20070 p136, 23021 p137 | a 解糖系 b クエン酸回路 c ペントースリン酸回路 d グリコーゲンの合成・分解 e 糖新生 f 血糖の調節 |
| | C 脂質の代謝 22021 p139 | a トリグリセリド・脂肪酸の代謝 b エイコサノイドの代謝 c コレステロールの代謝 d 脂質の輸送とリポたんぱく質の代謝 |
| | D 核酸の代謝 — | a プリン・ピリミジンの代謝 |
| 5 個体のホメオスタシスとその調節機構 | A 情報伝達の機構 19024 p142, 24021 p142 | a 細胞間情報伝達 b 内分泌系と神経系による調節 c 受容体の構造と機能 d 細胞内情報伝達 |
| | B ホメオスタシス 21022 p144, 23022 p145, 24022 p153, 25021 別冊p7 | a ホメオスタシスとフィードバック機構 b 体液のホメオスタシス c 体温の調節 d 生体機能の周期性変化(概日リズム) |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|--------------|------------------------|---|---|
| 6 加齢・疾患に伴う変化 | A 加齢に伴う変化 | 18023 p148 | a 分子レベルの老化 b 器官レベルの老化 |
| | B 疾患に伴う変化 | 16024 p152, 22023 p150, 25022 別冊p7 | a 炎症と創傷治癒 b 変性 c 壊死, アポトーシス d 萎縮・肥大 e 化生 f 良性腫瘍, 悪性腫瘍 g 発がんのメカニズム; がん遺伝子, がん抑制遺伝子 |
| | C 個体の死 | - | a 心臓死 b 脳死と植物状態 |
| 7 疾患診断の概要 | A 主な症候 | 17119 p154, 20025 p154, 22024 p155 | a バイタルサイン b 全身症候; 発熱, 全身倦怠感, 体重減少・増加, ショック, 意識障害, 不穏, けいれん, めまい, 脱水, 浮腫 c その他の症候・病態; チアノーゼ, 黄疸, 発疹, 咳血, 頭痛, 運動麻痺, 腹痛, 悪心, 嘔吐, 嘔下困難, 食欲不振, 便秘, 下痢, 吐血, 下血, 腹部膨隆, 腹水, 睡眠障害 |
| | B 臨床検査 | 20024 p159, 21024 p156, 23024 p157, 25023 別冊p7 | a 種類と特性 b 基準値の考え方 c 一般臨床検査; 尿, 粪便, 咳痰 d 血液学検査 e 生化学検査 f 免疫学検査 g 微生物学検査 h 生理機能検査 i 画像検査 |
| 8 疾患治療の概要 | A 種類と特徴 | 24023 p160, 25024 別冊p7 | a 原因療法, 対症療法 b 保存療法, 根治療法 |
| | B 治療の方法 | 17027 p161, 22025 p162, 23025 p162 | a 栄養・食事療法 b 運動療法 c 薬物療法 d 手術療法 e 輸液, 輸血, 血液浄化 f 臓器・組織移植, 人工臓器 g 放射線治療 h リハビリテーション i 再生医療 j 救急救命治療 (クリティカルケア) k 緩和ケア l 終末期医療 (ターミナルケア) m 尊厳死 |
| 9 栄養障害と代謝疾患 | A 栄養・代謝に関わるホルモン・サイトカイン | 22026 p164, 23026 p163 | a インスリン抵抗性に関わるホルモン b 摂食調節に関わるホルモン |
| | B 栄養障害 | - | a 飢餓 b たんぱく質・エネルギー栄養障害 (PEM), 栄養失調症 c 悪液質 d ビタミン欠乏症・過剰症 e ミネラル欠乏症・過剰症 |
| | C 肥満と代謝疾患 | 11149 p171, 18126 p186, 20027 p166, 23119 p175, 24024 p174, 25025 別冊p7, 25119 別冊p29 | a 肥満, メタボリックシンドローム b 糖尿病 c 脂質異常症 d 高尿酸血症, 痛風 |
| | D 先天性代謝異常症 | 21026 p189, 23136 p188 | a アミノ酸代謝異常 b 脂質代謝異常 c 糖質代謝異常 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|----------|-------------------------|---|--|
| 10 消化器系 | A 消化器系の構造と機能 | 19030 p193, 21027 p191, 22027 p195, 24025 p191, 25026 別冊p7 | a 消化管の構造と機能 b 肝臓・胆嚢・脾臓の構造と機能 c 咀しゃく, 嘉下 d 消化管ホルモン e 消化, 吸収 |
| | B 消化器疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 16030 p215, 17031 p204, 05015 p197, 21028 p42, 23028 p209, 24026 p196, 25027 別冊p8 | a 口内炎, 舌炎 b 胃食道逆流症 c 胃潰瘍, 十二指腸潰瘍 d たんぱく漏出性胃腸症 e 炎症性腸疾患; クローン病, 潰瘍性大腸炎 f 過敏性腸症候群 g 便秘 h 肝炎 i 肝硬変 j 脂肪肝, NAFLD・NASH k 胆石症, 胆嚢炎 l 脾炎 m 腸閉塞(イレウス) n 消化器系の悪性腫瘍 |
| 11 循環器系 | A 循環器系の構造と機能 | 23029 p216, 24027 p216, 25028 別冊p8 | a 心臓の構造と機能 b 血管の構造と機能 c 体循環, 肺循環 d リンパの循環 e 血圧調節の機序 |
| | B 循環器疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 11137追改 p255, 19032 p229, 21030 p219, 22030 p232, 24028 p225, 25029 別冊p8 | a 虚血, 充血, うつ血 b 血栓, 塞栓 c 動脈硬化 d 高血圧症 e 虚血性心疾患; 狹心症, 心筋梗塞 f 不整脈; 心房細動, 心室細動, 心室頻拍 g 肺塞栓症 h 心不全 i 脳出血, 脳梗塞, くも膜下出血 |
| 12 腎・尿路系 | A 腎・尿路系の構造と機能 | 12038 p234, 21031 p233, 22032 p235, 23031 p234, 24029 p233, 25030 別冊p8 | a 腎臓の構造と機能 b 尿管・膀胱・尿道の構造と機能 |
| | B 腎・尿路疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 11030 p146, 11041 p248, 11139 p240, 12140 p237, 24030 p242, 25031 別冊p8 | a 急性糸球体腎炎 b ネフローゼ症候群 c 急性腎障害(AKI) d CKD; [糖尿病性腎臓病(DKD); 糖尿病腎症], 慢性糸球体腎炎, 腎硬化症 e 血液透析, 腹膜透析 |
| 13 内分泌系 | A 内分泌器官と分泌ホルモン | 21032 p251 | a ホルモン分泌の調節機構 b 視床下部・下垂体ホルモン c 甲状腺ホルモン d カルシウム代謝調節ホルモン e 副腎皮質・髓質ホルモン f 膵島ホルモン g 性腺ホルモン |
| | B 内分泌疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 22033 p259, 24031 p253, 25032 別冊p8, 25129 別冊p32 | a 下垂体の疾患 b 甲状腺の疾患 c 上皮小体(副甲状腺)の疾患 d 副腎の疾患 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|---------------|-----------------------------|--|---|
| 14 神経系 | A 神経系の構造と機能 | 21034 p262, 23034 p260, 24032 p261 | a 神経系の構造と機能 b 体性神経系の構造と機能 c 自律神経系の構造と機能 d 感覚器の構造と機能 |
| | B 神経疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 20033 p263, 25033 別冊p9 | a 認知症 b パーキンソン病・症候群 |
| 15 呼吸器系 | A 呼吸器系の構造と機能 | 23035 p267, 24033 p266, 25034 別冊p9 | a 気道の構造と機能 b 肺の構造と機能 c 血液による酸素・二酸化炭素運搬の仕組み |
| | B 呼吸器疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 19037 p272, 19135 p269, 24034 p273, 25035 別冊p9 | a COPD b 気管支喘息 c 肺炎 d 肺がん |
| 16 運動器（筋・骨格）系 | A 運動器系の構造と機能 | 17038 p277, 21036 p275, 22036 p276, 24035 p273, 24095 p274 | a 骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能 b 骨の成長 c 骨のリモデリング d 骨格筋の構造と機能 |
| | B 運動器疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 18037 p280, 20133 p282, 23036 p279, 24036 p278, 25037 別冊p9 | a 骨粗鬆症 b 骨軟化症, くる病 c 变形性関節症 d フレイル e サルコペニア f ロコモティブシンドローム |
| 17 生殖器系 | A 生殖器系の構造と機能 | 14046 p284, 19040 p283 | a 男性生殖器の構造と機能 b 女性生殖器の構造と機能 c 性周期, 排卵の機序 |
| | B 生殖器疾患の成因・病態・診断・治療 | 20038 p287, 23037 p286, 24037 p286 | a 男性生殖器疾患：前立腺肥大, 前立腺がん b 女性生殖器疾患：乳がん, 子宮体部がん, 子宮頸がん |
| | C 妊娠と分娩・妊娠合併症 | 21037 p288, 22037 p290, 25038 別冊p9 | a 受精と胎児の成長, 胎盤 b 分娩, 乳汁分泌 c 妊娠高血圧症候群 d 妊娠糖尿病 |
| 18 血液・凝固系 | A 血液・凝固系の構造と機能 | 21038 p293, 23038 p292, 25039 別冊p10 | a 血球の分化・成熟 b 赤血球, 白血球, 血小板 c 血漿たんぱく質 d 凝固・線溶系 |
| | B 血液系疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 15143 p300, 15199 p839, 20039 p294, 22039 p295, 23039 p301, 24038 p295, 24039 p299, 25040 別冊p10 | a 貧血 b 出血性疾患 c 白血病 |
| 19 免疫, アレルギー | A 免疫と生体防御 | 20040 p303, 21040 p303, 22040 p302, 23040 p306 | a 特異的・非特異的防御機構 b 体液性免疫, 細胞性免疫 c アレルギー |
| | B 免疫・アレルギー疾患の成因・病態・診断・治療の概要 | 21041 p310, 22041 p309, 23041 p307, 25041 別冊p10 | a 食物アレルギー b 膜原病, 自己免疫疾患 c 免疫不全 |
| 20 感染症 | A 感染症の成因・病態・診断・治療の概要 | 15050 p65, 18044 p314, 20042 p313, 22042 p312, 24042 p313, 25042 別冊p10 | a 病原微生物 b 性行為感染症 c 院内感染症 d 新興感染症, 再興感染症 e 抗菌薬・抗生物質 |

●食べ物と健康

〈出題のねらい〉

○食品の分類、成分及び物性を理解し、人体や健康への影響に関する知識を問う。

○食品素材の成り立ちについての理解や、食品の生産から加工、流通、貯蔵、調理を経て人に摂取されるまでの過程における安全性の確保、栄養や嗜好性の変化についての理解を問う。

○食べ物の特性をふまえた食事設計及び調理の役割の理解を問う。

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|----------------|-----------------------------|--|--|
| 1 人と食べ物 | A 食文化と生活 | — | a 食文化とその歴史的変遷 b 食生活の時代的変化 c 食物連鎖 d 食嗜好の形成 |
| | B 食料と環境問題 | 23043 p317 | a フードマイレージの低減 b 食料生産と食料自給率 c 地産地消 d 食べ残し・食品廃棄の低減 |
| 2 食品の分類、成分及び物性 | A 分類の種類 | — | a 生産様式による分類 b 原料による分類 c 主要栄養素による分類 d 食習慣による分類 e その他の分類 |
| | B 植物性食品の分類と成分 | 16049 p324, 17068 p320, 18046 p321, 19045 p322, 20044 p321, 20045 p330, 21044 p334, 22044 p318, 22045 p349, 24043 p328, 24044 p333, 25043 別冊p10, 25044 別冊p11, 25047 別冊p11 | a 穀類 b いも及びでん粉類 c 砂糖及び甘味類 d 豆類 e 種実類 f 野菜類 g 果実類 h きのこ類 i 藻類 |
| | C 動物性食品の分類と成分 | 17045 p336, 20046 p335, 23046 p339, 24045 p341, 24048 p340, 25045 別冊p11 | a 肉類 b 魚介類 c 乳類 d 卵類 |
| | D 油脂類、調味料及び香辛料類、嗜好飲料類の分類と成分 | 20049 p344, 21046 p349, 22048 p346, 24046 p438, 25046 別冊p11 | a 油脂類 b 調味料及び香辛料 c 嗜好飲料類 |
| | E 食品の物性 | 18051 p355, 19052 p350, 21048 p350 | a コロイド；エマルション、ゾル・ゲル b レオロジー；非ニュートン流動 |

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|----------|--|--|
| 3 食品の機能 | A 一次機能 21047 p359, 22049 p424, 23048 p347, 23049 p356, 23050 p466, 24047 p356 | a たんぱく質 b 炭水化物；糖質、食物繊維 c 脂質 d ビタミン e ミネラル f 水 |
| | B 二次機能 17051 p363, 18068 p372, 19050 p360, 21049 p369, 21051 p367, 22050 p362, 22066 p371, 23044 p366 | a 色素成分 b 呈味成分 c 香気・におい成分 d テクスチャー |
| | C 三次機能 20052 p373, 24049 p374, 25048 別冊p12, 25049 別冊p12 | a 消化管内で作用する機能 b 消化管吸収後の標的組織での生理機能調節 c 保健機能食品の成分と機能 |
| 4 食品の安全性 | A 食品衛生と法規 16053 p378, 19053改 p376, 20053 p375, 21052 p377 | a リスク分析；リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーション b 食品安全基本法と食品衛生法 c 食品衛生関連法規 d 食品衛生行政組織 e 国際機関；世界保健機関（WHO）、国連食糧農業機関（FAO）、コーデックス委員会（CAC） |
| | B 食品の変質 18056 p383, 23051 p381, 24050 p382, 25050 別冊p12 | a 微生物による変質；腐敗 b 化学的変質；油脂の酸敗 c 変質の防止法 d 鮮度・腐敗・酸敗の判定法 |
| | C 食中毒 17054 p379, 22052 p387, 23052 p387, 23053 p390, 24051 p386, 24052 p389, 25051 別冊p12, 25052 別冊p12, 25053 別冊p13 | a 食中毒の定義 b 食中毒の発生状況 c 細菌性食中毒 d ウイルス性食中毒 e 自然毒食中毒 f 化学性食中毒 |
| | D 食品による感染症・寄生虫症 17056 p392, 22054 p393, 23054 p394, 24053 p393 | a 経口感染症 b 人畜共通感染症 c 食品から感染する寄生虫症 |
| | E 食品中の有害物質 17057 p397, 23055 p398, 24054 p395, 25054 別冊p13 | a かび毒（マイコトキシン） b 化学物質 c 有害元素・放射性物質 d 食品成分の変化により生ずる有害物質 e 混入異物 f 残留農薬；ポジティブリスト制 |
| | F 食品添加物 21057 p400, 23056 p402, 24055 p401, 25055 別冊p13 | a 食品添加物の役割 b 安全性評価；毒性試験、無毒性量（NOAEL）、一日摂取許容量（ADI）、使用基準 c 食品衛生法による分類と表示 d 種類と用途 |
| | G 食品の安全性に関するその他の物質 16054 p385 | a トランス脂肪酸 b BSE；プリオン c 環境ホルモン |
| | H 食品衛生管理 — | a HACCP の概念 b 食品工場における一般衛生管理事項 c 家庭における衛生管理 d 國際標準化機構（ISO） |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|---------------------|-------------------------|--|--|
| 5 食品の表示と規格基準 | A 食品表示制度 | - | a 食品表示法 b その他の法律；健康増進法、食品衛生法、JAS 法、景品表示法 |
| | B 食品の表示方法 | 15065 p407, 16060 p410, 19060 p404, 22057 p405, 22197 p902, 22198 p902, 24056 p409, 24057 p412, 25057 別冊p13 | a 栄養表示；栄養成分表示、栄養強調表示 b 食品安全確保の表示；保存方法、遺伝子組換え食品、アレルゲン c 品質表示；原料・原産地表示、原材料名、賞味・消費期限 |
| | C 食品の規格基準 | 19061 p414, 22055 p411 | a 成分規格 b 製造・加工・調理基準 c 保存基準 |
| | D 特別用途食品・保健機能食品の規格基準と表示 | 13068 p416, 17062 p414, 17064 p422, 18062 p419, 22059 p418, 23058 p420, 24058 p423, 25058 別冊p14, 25059 別冊p14 | a 特別用途食品；病者用食品、妊娠婦・授乳婦用粉乳、乳児用調製乳、えん下困難者用食品 b 特定保健用食品；個別許可型、規格基準型、疾病リスク低減表示、条件付き特定保健用食品 c 栄養機能食品 d 機能性表示食品 e 虚偽・誇大広告などの禁止 |
| | E 器具・容器包装の規格基準と表示 | - | a 器具・容器包装の安全性の規格基準；ガラス、陶磁器、木口ウ、プラスチック製品 b 表示；識別表示、識別マーク |
| 6 食品の生産・加工・保存・流通と栄養 | A 食料生産と栄養 | - | a 生産条件；場所、季節、栽培条件と栄養 |
| | B 食品加工と栄養、加工食品とその利用 | 17049 p424, 18049 p440, 18053 p430, 18064 p435, 19062 p433, 19066 p432, 20065 p343, 21061 p319, 21062 p437, 22046 p327, 23045 p337, 23060 p428, 23061 p434, 23062 p353, 24059 p435, 24060 p427, 24061 p439, 25060 別冊p14, 25061 別冊p14, 25062 別冊p15 | a 食品加工の意義・目的 b 食品加工の方法 c 食品加工に伴う食品・栄養成分の変化 d 食品成分間反応 e 農産加工食品とその利用 f 畜産加工食品とその利用 g 水産加工食品とその利用 h 油脂、調味料、嗜好飲料とその利用 i 微生物利用食品とその利用 j 冷凍食品、インスタント食品、レトルトパウチ食品とその利用 |
| | C 食品流通・保存と栄養 | 19063 p444, 21063 p442, 24062 p443, 25063 別冊p15 | a 食品流通の概略 b 食品保存の方法 c 流通環境と食品・栄養成分変化；温度、光、気相 d 保存条件と食品・栄養成分変化；水分活性、保存による変化、食品成分間反応 |
| | D 器具と容器包装 | 21064 p446, 22063 p447 | a 材料及び形態 b 包装による成分及び品質変化 c 素材による環境汚染 |

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|--------------|---|---|
| 7 食事設計と栄養・調理 | A 食事設計の基礎 18045 p450, 19065 p451, 24063 p452 | a 食事設計の意義・内容 b 嗜好性の主観的評価・客観的評価 |
| | B 調理の基本 14073 p454, 18069 p326, 21065 p456, 22064 p348, 24064 p448, 25065 別冊p15 | a 調理の意義 b 非加熱・加熱調理操作の原理 c 热の伝わり方と効率的な加熱条件 d 代表的な調理器具の使用法 e 代表的な調理操作 f 食品の特徴に応じた調理の特性 |
| | C 調理操作と栄養 22065 p457, 23064 p331, 23065 p365, 23066 p457, 24065 p338, 24066 p458, 25064 別冊p15 | a 調理操作による食品の組織・物性と栄養成分の変化 b 調理による栄養学的・機能的利点 |
| | D 献立作成 21067 p460, 22067 p461 | a 献立作成条件と手順 b 供食、食卓構成、食事環境 |
| | E 日本食品標準成分表の理解 17048改 p465, 18050改 p463, 20064 p336, 24067 p462, 25056 別冊p13, 25066 別冊p16, 25067 別冊p16 | a 食品成分表の構成と内容 b 食品成分表利用上の注意点 |

●基礎栄養学

〈出題のねらい〉

○栄養の基本的概念及びその意義についての理解を問う。

○エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義についての理解を問う。

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|------------------|----------------|--|
| 1 栄養の概念 | A 栄養の定義 | a 栄養 b 栄養素 |
| | B 栄養と健康・疾患 | a 栄養学の歴史 b 欠乏症・過剰症 c 生活習慣病 d 健康増進 |
| | C 遺伝形質と栄養の相互作用 | a 栄養素に対する応答の個人差 b 生活習慣病と遺伝子多型 c 優劣遺伝子 |
| 2 食物の摂取 | A 空腹感・満腹感と食欲 | a 空腹感・満腹感 b 摂食量の調節 |
| | B 食事のリズムとタイミング | — a 日内リズムと栄養補給 |
| 3 栄養素の消化・吸収と体内動態 | A 消化・吸収と栄養 | — a 水溶性栄養素 b 疎水性栄養素 |
| | B 消化の過程 | — a 口腔内消化 b 胃内消化 c 小腸内消化 d 膜消化 |
| | C 管腔内消化の調節 | 17072 p478, 21070 p479, 25069 別冊p17 a 脳相、胃相、腸相 b 自律神経系による調節 c 消化管ホルモンによる調節 |
| | D 吸収の過程 | 19071 p105, 20069 p480, 23069 p106 a 膜の透過 b 受動輸送・能動輸送・膜動輸送 |
| | E 栄養素等の吸収 | 19072 p481, 21071 p132, 24070 p476, 25070 別冊p17 a 炭水化物 b 脂質 c たんぱく質 d ビタミン e ミネラル f 水 |
| | F 栄養素の体内動態 | — a 門脈系 b リンパ系 |
| | G 生物学的利用度 | 22070 p482 a 消化吸収率 b 栄養価 |
| | H 栄養素の排泄 | — a 水溶性栄養素 b 疎水性栄養素 |
| | A 炭水化物の栄養 | 22071 p483, 24071 p486, 25072 別冊p17 a 糖質の栄養学的特徴 b 食後・食間期の糖質代謝 c 糖質代謝の臓器差と臓器間連携 |
| 4 炭水化物の栄養 | B 血糖とその調節 | 20071 p484, 25071 別冊p17 a インスリンの作用 b 血糖曲線 c 肝臓の役割 d 筋肉・脂肪組織の役割 e コリ回路、グルコース・アラニン回路 |
| | C 他の栄養素との関係 | — a 相互変換 b ビタミン B ₁ 必要量の増加 c たんぱく質節約作用 |
| | D 難消化性炭水化物 | 18076 p487, 23072 p488 a 不溶性食物繊維、水溶性食物繊維 b 難消化性糖質 c 腸内細菌叢と短鎖脂肪酸 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|------------|--------------------|---|--|
| 5 脂質の栄養 | A 脂質の体内代謝 | 24072 p496, 25073 別冊p17 | a 脂質の栄養学的特徴 b 食後・食間期の脂質代謝 c 脂質代謝の臓器差 |
| | B 脂質の臓器間輸送 | 17079 p498, 21074 p496, 22073 p492 | a リボたんぱく質 b 遊離脂肪酸 c ケトン体 |
| | C コレステロール代謝の調節 | 21075 p499, 23075 p193, 24073 p139 | a コレステロールの合成・輸送・蓄積 b フィードバック調節 c コレステロール由来の体成分 d 胆汁酸の腸肝循環 |
| | D 摂取する脂質の量と質の評価 | 25074 別冊p18 | a 脂肪エネルギー比率 b 飽和脂肪酸, 一価不飽和脂肪酸, 多価不飽和脂肪酸 c n-6 系脂肪酸, n-3 系脂肪酸 d 必須脂肪酸 e 脂肪酸由来の生理活性物質 |
| | E 他の栄養素との関係 | - | a ビタミン B ₁ 節約作用 b エネルギー源としての糖質の節約作用 |
| 6 たんぱく質の栄養 | A たんぱく質・アミノ酸の体内代謝 | 18073 p490, 20072 p489, 22072 p490, 23073 p489, 25075 別冊p18 | a たんぱく質・アミノ酸の栄養学的特徴 b 食後・食間期のたんぱく質・アミノ酸代謝 c たんぱく質・アミノ酸代謝の臓器差 d BCAA e アルブミン, RTP (rapid turnover protein) |
| | B 摂取するたんぱく質の量と質の評価 | 15198改 p904, 20073 p492, 21073 p495, 24075 p483 | a 不可欠アミノ酸 b アミノ酸価 c たんぱく質効率 d 窒素出納, 生物価 e アミノ酸の補足効果 |
| | C 他の栄養素との関係 | 15197改 p904 | a エネルギー代謝とたんぱく質 b 糖新生とたんぱく質代謝 |
| 7 ビタミンの栄養 | A ビタミンの分類 | 22076 p503, 22077 p501, 25076 別冊p18 | a 脂溶性ビタミン b 水溶性ビタミン |
| | B ビタミンの栄養学的特徴と機能 | 23076 p506, 24077 p506, 25077 別冊p18 | a 補酵素とビタミン b 抗酸化作用とビタミン c ホルモン様作用とビタミン d 血液凝固とビタミン e エネルギー代謝とビタミン f 糖質・脂質・アミノ酸の代謝とビタミン g 核酸代謝とビタミン h 一炭素単位代謝とビタミン i カルシウム代謝とビタミン |
| | C ビタミンの吸収と体内利用 | 23077 p501 | a 脂溶性ビタミンと脂質の消化吸収の共通性 b 水溶性ビタミンの組織飽和と尿中排出 c 腸内細菌叢とビタミン d ビタミン B ₁₂ 吸収機構の特殊性 |
| 8 ミネラルの栄養 | A ミネラルの分類 | 15086 p508, 17082 p508, 22079 p511, 24079 p471 | a 多量ミネラル b 微量ミネラル |
| | B ミネラルの栄養学的特徴と機能 | 20078 p511, 22078 p514, 25078 別冊p18 | a 硬組織とミネラル b 神経・筋肉の機能維持とミネラル c 血圧調節とミネラル d 糖代謝とミネラル e 酵素とミネラル |
| | C ミネラルの吸収と体内利用 | 23078 p512, 24078 p514, 25079 別冊p19 | a カルシウムの吸収と体内利用 b 鉄の吸収と体内利用 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|---------------|---------------|---|---|
| 9 水・電解質の栄養的意義 | A 水の出納 | 13199 p852, 20079 p516, 21079 p516, 25080 別冊p19 | a 代謝水 b 不可避尿 c 不感蒸泄 d 水分必要量 e 脱水、熱中症 f 浮腫 |
| | B 電解質代謝と栄養 | 13200 p852, 22080 p146, 24080 p518 | a 水・電解質・酸塩基平衡の調節 b 血圧の調節 |
| 10 エネルギー代謝 | A エネルギー代謝の概念 | 20081 p521, 22081 p519, 23080 p520, 24081 p522, 25081 別冊p19 | a 基礎代謝 b 安静時代謝 c 睡眠時代謝 d 活動時代謝 e メツツ (METs)、身体活動レベル (PAL) f 食事誘発性熱産生 (DIT) |
| | B エネルギー代謝の測定法 | 21081 p523, 23081 p524 | a 直接法、間接法 b 呼気ガス分析 c 呼吸商、非たんぱく質呼吸商 d 二重標識水法 |
| | C 生体利用エネルギー | - | a 物理的燃焼値、生理的燃焼値 b 臓器別エネルギー代謝 |

●応用栄養学

〈出題のねらい〉

○栄養ケア・マネジメント考え方についての理解を問う。

○食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠についての理解を問う。

○各ライフステージの特徴や運動・スポーツ、環境の生体への影響に基づいた栄養ケア・マネジメントについての基礎的な理解を問う。

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|----------------|-----------------------|--|
| 1 栄養ケア・マネジメント | A 栄養ケア・マネジメントの概念 | — |
| | B 栄養ケア・マネジメントの概要 | 16084 p527, 21082 p649, 24082 p652, 24083 p654, 24084 p534, 25082 別冊p19, 25113 別冊p27 a 栄養ケア・マネジメントの定義 b 栄養スクリーニング c 栄養アセスメント d 実施・チェック e モニタリング f 評価 g サービスの評価・継続的な品質改善 |
| 2 食事摂取基準 | A 策定の基本的事項と留意事項 | 17086改 p533, 20084改 p529, 21085 p528, 22095 p570, 23084 p530, 25083 別冊p19 a 策定方針 b 指標の概要 c 策定した食事摂取基準 d 策定の留意事項 |
| | B 活用に関する基本的事項 | 24149 p531 a 活用の基本的考え方 b 食事摂取状況のアセスメントの方法と留意点 c 指標別に見た活用法の留意点 d 目的に応じた活用上の留意点 |
| | C エネルギー・栄養素別食事摂取基準 | 16088改 p536, 21086 p538, 23085改 p537, 24085 p535, 25084 別冊p20, 25085 別冊p20 a エネルギー b たんぱく質 c 脂質 d 炭水化物 e エネルギー産生栄養素バランス f ビタミン g ミネラル |
| | D 対象特性 | 19090改 p549, 20086改 p540, 21087改 p564, 23088 p550, 24086 p574, 25088 別冊p21 a 妊婦・授乳婦 b 乳児 c 小児 d 高齢者 |
| | E 生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連 | 09097改 p565, 23092 p542, 24087 p541, 25086 別冊p20 a 高血圧 b 脂質異常症 c 糖尿病 d CKD |
| 3 成長、発達、加齢 | A 成長、発達、加齢の概念 | 21088 p543, 22086 p544, 23086 p543 a 成長 b 発達 c 加齢 |
| 4 妊娠期、授乳期の栄養管理 | A 妊娠期、授乳期の生理的特徴 | 18089 p548, 22087 p545, 22088 p546, 22089 p547, 25087 別冊p20 a 妊娠の成立・維持 b 胎児の成長 c 母体の生理的変化 d 乳汁分泌の機序 e 初乳、成乳 |
| | B 妊娠期、授乳期の栄養ケア・マネジメント | 21143 p552, 24088 p551, 24177 p818, 24178 p818 a やせと肥満 b 貧血 c 妊娠悪阻 d 妊娠糖尿病 e 妊娠高血圧症候群 f 神経管閉鎖障害 g 妊娠前からはじめる妊娠婦のための食生活指針 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|--------------------|---------------------------|---|---|
| 5 新生児期、乳児期の栄養管理 | A 新生児期、乳児期の生理的特徴 | 19183 p820, 23089 p555, 24089 p554, 25089 別冊p21 | a 出生体重による分類 b 体水分量と生理的体重減少 c 呼吸器系 d 循環器系 e 体温調節 f 腎機能 g 摂食機能 h 消化管機能 i 血液・免疫系 |
| | B 新生児期、乳児期の栄養ケア・マネジメント | 18092 p558, 19184 p821, 19185 p821, 20091 p556, 25090 別冊p21, 25171 別冊p47, 25172 別冊p48 | a 母乳性黄疸 b 乳児ビタミンK欠乏性出血症 c 貧血 d 乳児下痢症 e 二次性乳糖不耐症 f 便秘 g 乳児身体発育曲線と栄養評価 h 授乳・離乳の支援ガイド |
| 6 幼児期、学童期、思春期の栄養管理 | A 幼児期、学童期、思春期の発達と生理的特徴 | 16094 p562, 19094 p562, 22091 p559, 24091 p560, 25091 別冊p21 | a 身体の成長 b 生理機能 c 摂食機能 d 運動機能 e 精神機能 f 生活習慣 g 社会性 h 第二次性徴 |
| | B 幼児期、学童期、思春期の栄養ケア・マネジメント | 18093 p563, 23090 p561, 24092 p566 | a やせと肥満 b 脱水 c う歯 d 偏食 e 摂食障害 f 貧血 g 食物アレルギー h 教育・保育施設における栄養ケア・マネジメントの実践 |
| 7 成人期の栄養管理 | A 成人期の生理的特徴 | 24093 p567, 25092 別冊p21 | a 内分泌系 b 生殖器系 c 代謝機能 |
| | B 成人期の栄養ケア・マネジメント | - | a やせと肥満 b 生活習慣病予防 c 更年期障害 d 骨粗鬆症 |
| 8 高齢期の栄養管理 | A 高齢期の生理的特徴 | 22094 p572, 23093 p568, 24094 p569 | a 感覚機能 b 咀嚼・嚥下機能 c 消化・吸収機能 d たんぱく質・エネルギー代謝 e 身体能力 f 身体活動 g ADL h IADL |
| | B 高齢期の栄養ケア・マネジメント | 18010 p573, 18097 p571, 20023 p573, 23094 p570, 25094 別冊p22 | a 低栄養 b 咀嚼・嚥下障害 c 脱水 d 便秘 e フレイル f サルコペニア g 口コモティブシンドローム h 転倒、骨折 i 認知症 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|----------------|------------------------|---|--|
| 9 運動・スポーツと栄養管理 | A 運動時の生理的特徴 | 16097 p575, 23095 p575, 25095 別冊p22 | a エネルギー代謝 b 呼吸・循環応答 c 体力 |
| | B 運動の健康への影響 | 25096 別冊p23 | a 健康の維持・増進 b 生活習慣病予防 |
| | C 運動時における栄養ケア・マネジメント | 22096 p576, 24096 p577, 25174 別冊p49 | a 運動とトレーニング b 食事内容と摂取のタイミング c エネルギー不足 d 貧血 e 栄養補助食品の利用 |
| 10 環境と栄養管理 | A ストレス時における栄養ケア・マネジメント | 17098 p579, 23096 p580, 25097 別冊p23 | a 恒常性の維持とストレッサー b 生体の適応性と自己防衛 c ストレスによる代謝の変動 |
| | B 特殊環境における栄養ケア・マネジメント | 21097 p811, 23002 p584, 23097 p582 | a 高温・低温環境 b 高圧・低圧環境 c 無重力環境 d 災害時 |

●栄養教育論

〈出題のねらい〉

○栄養教育の目的に応じた理論と技法についての理解を問う。

○対象者の社会・生活環境や健康・栄養状態の特徴を考慮し、理論や技法を応用した栄養教育の展開についての理解を問う。

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|-----------------|---|---|
| 1 栄養教育のための理論的基礎 | A 栄養教育の概念 24098 p587 | a 栄養教育の定義と目的 b 食行動の多様性 |
| | B 行動科学の理論とモデル 17102 p598, 18104 p605, 20099 p597, 20102 p610, 21098 p590, 22098 p592, 22099 p591, 22100 p600, 23098 p595, 23099 p598, 23100 p599, 23189 p853, 24099 p588, 24100 p589, 24101 p594, 25098 別冊p24, 25099 別冊p24, 25100 別冊p24, 25175 別冊p49 | a 行動科学の定義と栄養教育に必要な理由 b 刺激-反応理論 c 生態学的モデル d ヘルスピリーフモデル e トランスセオレティカルモデル f 計画的行動理論 g 社会的認知理論 h ソーシャルサポート i コミュニティオーガニゼーション j イノベーション普及理論 k ヘルスリテラシー |
| | C 栄養カウンセリング 18105 p605, 20100 p601, 21101 p604, 22175 p843, 22176 p843, 23101 p603, 23102 p606, 24102 p607, 24175 p823, 25101 別冊p24 | a 行動カウンセリング b カウンセリングの基礎的技法 c 認知行動療法 d 動機づけ面接 |
| | D 行動変容技法と概念 17106 p611, 17107 p612, 19104 p610, 19105 p596, 22103 p588, 22105 p612, 23104 p613, 23186 p860, 23191 p854, 24103 p608, 24104 p611, 24105 p614, 24171 p857, 24196 p861, 24199 p889, 25102 別冊p25, 25103 別冊p25, 25104 別冊p25 | a 刺激統制 b 反応妨害・拮抗 c 行動置換 d オペラント強化 e 認知再構成 f 意思決定バランス g 目標宣言、行動契約 h セルフモニタリング i 自己効力感(セルフ・エフィカシー) j ストレスマネジメント k ソーシャルスキルトレーニング l ナッジ |
| | E 組織づくり・地域づくり・食環境づくりへの展開 16108 p616, 20103 p617, 22106 p617, 23105 p615, 23190 p853, 25105 別冊p25 | a セルフヘルプグループ b グループダイナミクス c エンパワメント d 栄養教育と食環境づくり |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|---------------------|------------------------------------|---|---|
| 2 栄養教育マネジメント | A 栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル | 20104 p621, 21105 p618, 23106 p618, 25106 別冊p26 | a プリシード・プロシードモデル b ソーシャルマーケティング |
| | B 健康・食物摂取に影響を及ぼす要因のアセスメント | 22108 p622 | a アセスメントの種類と方法 |
| | C 栄養教育の目標設定 | 15200 p839, 22109 p622, 22188 p855, 23107 p623, 24107 p623, 24173 p858, 25107 別冊p26, 25108 別冊p26 | a 目標設定の方法 b 実施目標 c 学習目標 d 行動目標 e 環境目標 f 結果目標 |
| | D 栄養教育計画立案 | 19110 p625, 20108 p625, 23108 p633, 24108 p624, 24172 p858, 25109 別冊p26, 25110 別冊p27 | a 学習者と学習形態及び場の決定 b 期間・時期・頻度・時間の設定 c 実施者の決定とトレーニング d 教材の選択と作成 |
| | E 栄養教育プログラムの実施 | 24109 p630, 24110 p631 | a モニタリング b 実施記録・報告 |
| | F 栄養教育の評価 | 17112 p629, 18113 p627, 20109 p729, 22189 p855, 22190 p855, 23109 p629, 23110 p631, 24197 p861 | a 評価指標と評価基準の設定 b 企画評価 c 経過評価 d 影響評価 e 結果評価 f 形成的評価 g 総括的評価 h 経済評価 i 総合的評価 |
| 3 理論や技法を応用した栄養教育の展開 | A 多様な場（セッティング）におけるライフステージ別の栄養教育の展開 | 19114 p634, 20110 p633, 22171 p815, 22172 p815, 22173 p815, 23185 p860, 25173 別冊p48 | a 保育所・認定こども園・幼稚園における栄養教育の展開 b 小・中・高等学校、大学における栄養教育の展開 c 地域・職域における栄養教育の展開 d 高齢者福祉施設や在宅介護の場における栄養教育の展開 e 栄養と環境に配慮した栄養教育の展開 |

●臨床栄養学

〈出題のねらい〉

○傷病者や要支援者・要介護者の栄養ケア・マネジメントについての理解を問う。

○疾病的治療・増悪防止や栄養・食事支援を目的として、個別の疾患・病態や栄養状態の心身機能の特徴に応じた適切な栄養管理の方法についての理解を問う。なお、小児期は成長に必要な栄養素量、また、高齢期はフレイルなどの加齢による身体・生理機能変化及び多疾患併存を考慮した栄養管理の方法についての理解を問う。

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|----------------------|------------------|---|---|
| 1 臨床栄養の概念 | A 意義と目的 | — | a 傷病者や要支援者・要介護者への栄養ケア・マネジメント b 内部環境の恒常性と栄養支援、栄養状態の改善 c 疾患の予防 d 疾患の治癒促進 e 疾患の増悪化と再発の防止 f 社会的不利とノーマリゼーション g QOL（生活の質、人生の質）の向上 |
| | B 医療・介護制度の基本 | 20115 p637, 21111 p639, 22112 p637, 23111 p643, 24111 p642, 24155 p639, 25111 別冊p27 | a 医療保険制度 b 介護保険制度 c 医療・介護保険における栄養に関する算定の基本 |
| | C 医療と臨床栄養 | 21112 p648, 22111 p647, 25112 別冊p27 | a 医療における栄養管理の意義 b 医療における倫理 c クリニカルパスと栄養管理 d チーム医療 e リスクマネジメント f 傷病者の権利 g インフォームド・コンセント |
| | D 福祉・介護と臨床栄養 | — | a 福祉・介護における栄養管理の意義 b 福祉・介護における管理栄養士の役割 c チームケア d 在宅ケアと施設連携、地域包括ケアシステム |
| 2 傷病者・要支援者・要介護者の栄養管理 | A 栄養アセスメントの意義と方法 | 12124 p655, 14124 p654, 19119 p157, 20111 p649, 22113 p652, 23112 p653, 25114 別冊p28 | a 栄養スクリーニングの意義と方法 b 傷病者への栄養アセスメント c 要支援者・要介護者への栄養アセスメント d 栄養アセスメントの具体的方法；問診、臨床診査、身体計測、臨床検査、栄養・食事調査 |
| | B 栄養管理の目標設定と計画作成 | 24113 p656, 25179 別冊p52 | a 目標の設定 b 栄養投与量の算定 c 栄養補給法の選択 d 多職種との連携 |
| | C 栄養・食事療法と栄養補給法 | 14126 p657, 16119 p664, 19187 p847, 21114 p657, 21115 p660, 22114 p660, 22115 p662, 24112 p647, 24114 p659, 24115 p656, 24176 p818, 24186 p834 | a 栄養・食事療法と栄養補給法の歴史と特徴 b 経口栄養法 c 経腸栄養法 d 静脈栄養法 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|--------------|--------------------------|---|--|
| | D 傷病者、要支援者・要介護者への栄養教育 | - | a 傷病者への栄養教育；外来、入院、退院、在宅ケア b 要支援者・要介護者への栄養教育；施設、居宅 |
| | E モニタリングと再評価 | 22117 p669 | a 臨床症状や栄養状態のモニタリング b 栄養投与量の再評価 c 栄養補給法の再評価 d 栄養管理の修正 |
| | F 栄養管理の記録 | 13131 p665, 21119 p668, 23116 p667, 24118 p666 | a 栄養管理記録の意義 b 問題志向型システム（POS：problem oriented system）の活用 |
| | G 薬と栄養・食事の相互作用 | 18122 p199, 20124 p671, 21118 p671, 23115 p222, 24127 p670, 25117 別冊p28 | a 栄養・食品が医薬品に及ぼす影響 b 医薬品が栄養・食事に及ぼす影響 |
| 3 疾患・病態別栄養管理 | A 栄養障害における栄養ケア・マネジメント | 19123 p165, 21120 p472, 23117 p663, 24119 p650, 24120 p196, 25116 別冊p28, 25118 別冊p29 | a たんぱく質・エネルギー栄養障害（PEM）、栄養失調症 b ビタミン欠乏症・過剰症 c ミネラル欠乏症・過剰症 |
| | B 肥満と代謝疾患における栄養ケア・マネジメント | 14035 p184, 19124改 p169, 19125改 p178, 20119 p166, 20122 p181, 21116 p177, 21117 p265, 21122 p182, 22120 p176, 22121 p180, 23174 p828, 23175 p828, 23176 p829, 24121 p168, 24126 p183, 24182 p825, 24183 p826, 24184 p826, 25120 別冊p29, 25121 別冊p30, 25176 別冊p50, 25177 別冊p51, 25184 別冊p54, 25187 別冊p55, 25188 別冊p56, 25189 別冊p56 | a 肥満、メタボリックシンドローム b 糖尿病 c 脂質異常症 d 高尿酸血症、痛風 |

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|-----|----------------------------|--|
| | C 消化器疾患における栄養ケア・マネジメント | <p>17129 p210, 18130 p207, 19127 p200, 19128 p206, 20125 p205, 22122 p198, 22123 p211, 23122 p214, 23123 p208, 23124 p214, 24124 p203, 24125 p213, 24185 p834, 24188 p832, 24189 p832, 24190 p832, 25115 別冊p28, 25122 別冊p30, 25123 別冊p30</p> <p>a 口内炎、舌炎 b 胃食道逆流症 c 胃潰瘍、十二指腸潰瘍 d たんぱく漏出性胃腸症 e 炎症性腸疾患；クローン病、潰瘍性大腸炎 f 過敏性腸症候群 g 便秘、下痢 h 肝炎 i 肝硬変 j 脂肪肝、NAFLD・NASH k 胆石症、胆囊炎 l 膵炎</p> |
| | D 循環器疾患における栄養ケア・マネジメント | <p>15141 p231, 17132 p227, 18132 p224, 19130 p221, 21124 p225, 22125 p230, 23125 p222, 24187 p834, 25124 別冊p31, 25125 別冊p31</p> <p>a 高血圧症 b 動脈硬化症 c 狹心症、心筋梗塞 d 心不全 e 不整脈；心房細動、心室細動、心室頻拍 f 脳出血、脳梗塞、くも膜下出血</p> |
| | E 腎・尿路疾患における栄養ケア・マネジメント | <p>19133 p250, 20129 p241, 20130 p250, 21125 p243, 22127 p244, 23126 p245, 23127 p249, 24128 p246, 24129 p239, 25126 別冊p31, 25127 別冊p31, 25128 別冊p32, 25181 別冊p53, 25182 別冊p53, 25183 別冊p53, 25185 別冊p54</p> <p>a 急性糸球体腎炎 b ネフローゼ症候群 c 急性腎障害（AKI） d CKD；[糖尿病性腎臓病（DKD）；糖尿病腎症]、慢性糸球体腎炎、腎硬化症 e 血液透析、腹膜透析</p> |
| | F 内分泌疾患における栄養ケア・マネジメント | <p>20131 p258, 21127 p254, 22128 p257</p> <p>a 甲状腺機能亢進症・低下症 b クッシング病・症候群</p> |
| | G 神経疾患における栄養ケア・マネジメント | <p>16190 p838, 16191 p838, 25130 別冊p32</p> <p>a 認知症 b パーキンソン病・症候群</p> |
| | H 摂食障害における栄養ケア・マネジメント | <p>23129 p672, 24132 p673, 25131 別冊p32</p> <p>a 神経性やせ症 b 神経性過食症</p> |
| | I 呼吸器疾患における栄養ケア・マネジメント | <p>21129 p271, 23177 p836, 23178 p836, 23179 p836, 24133 p270</p> <p>a COPD b 気管支喘息 c 肺炎</p> |
| | J 血液系の疾患・病態における栄養ケア・マネジメント | <p>21186 p845, 21187 p845, 24174 p823</p> <p>a 貧血 b 出血性疾患</p> |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|-----|-------------------------------|--|---|
| | K 筋・骨格疾患における栄養ケア・マネジメント | 22131 p281, 23131 p279, 25132 別冊p33 | a 骨粗鬆症 b 骨軟化症, くる病 c 变形性関節症 d サルコペニア e ロコモティブシンドローム |
| | L 免疫・アレルギー疾患における栄養ケア・マネジメント | 22132 p309, 22174 p843, 23132 p308, 25133 別冊p33 | a 食物アレルギー b 膠原病, 自己免疫疾患 c 免疫不全 |
| | M 感染症における栄養ケア・マネジメント | 21132 p680, 25186 別冊p54 | a 感染症, 敗血症 |
| | N 癌における栄養ケア・マネジメント | 19186 p847, 22133 p674 | a 消化管の癌; 食道, 胃, 結腸, 直腸 b 消化管以外の癌; 肺, 肝, 腎, 白血病 c 化学療法, 放射線治療, 緩和ケア d 終末期医療 (ターミナルケア) |
| | O 手術, 周術期患者における栄養ケア・マネジメント | 22130 p676, 23134 p675, 23180 p848, 23181 p848, 23182 p849, 24134 p677, 25134 別冊p33 | a 消化管の術前, 術後 b 消化管以外の術前・術後 |
| | P クリティカルケアにおける栄養ケア・マネジメント | 20135 p679, 23135 p678, 24117 p226 | a 集中治療 b 外傷, 熱傷 |
| | Q 摂食機能障害における栄養ケア・マネジメント | 15150 p681, 19140 p682, 20095 p681, 23183 p851, 23184 p851, 25135 別冊p33, 25180 別冊p52 | a 咀嚼・嚥下障害 b 口腔・食道障害 |
| | R 要介護, 身体・知的障害における栄養ケア・マネジメント | 24135 p683, 25178 別冊p52 | a 身体障害 b 知的障害 c 精神障害 d 褥瘡 |
| | S 乳幼児・小児疾患における栄養ケア・マネジメント | 21135 p187, 22135 p187, 24136 p188, 24179 p841, 24180 p841, 24181 p841, 25136 別冊p34 | a 消化不良症 b 周期性嘔吐症 c 小児肥満 d 先天性代謝異常 e 糖尿病 f 腎疾患 |
| | T 妊産婦・授乳婦疾患における栄養ケア・マネジメント | 21136 p291, 22136 p289 | a 妊娠糖尿病, 糖尿病合併妊娠 b 妊娠高血圧症候群 |

●公衆栄養学

〈出題のねらい〉

○わが国や諸外国の健康・栄養問題に関する動向とそれらに対応した主要な栄養政策についての理解を問う。

○地域診断を通じた集団・地域における人々の健康・栄養状態及び社会・生活環境の特徴に基づいた公衆栄養活動についての理解を問う。

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|-----------------|---------------------|---|--|
| 1 公衆栄養の概念 | A 公衆栄養の概念 | — | a 公衆栄養の意義と目的 b 生態系と食料・栄養 c 保健・医療・福祉・介護システムと公衆栄養 d コミュニティと公衆栄養活動 |
| | B 公衆栄養活動の基本と展開過程 | 22137 p687, 25137 別冊p34 | a 公衆栄養活動の歴史 b 少子・高齢社会における健康増進 c 疾病予防のための公衆栄養活動 d ヘルスプロモーションのための公衆栄養活動 e エンパワーメントと公衆栄養活動 f 住民参加による公衆栄養活動 g ソーシャル・キャピタルの醸成と活用 h 持続可能性（サステナビリティ）を踏まえた公衆栄養活動 i 多職種連携・多機関連携 |
| 2 健康・栄養問題の現状と課題 | A 食事の変化 | 23138 p704, 24138 p705 | a エネルギー・栄養素摂取量 b 食品群別摂取量 c 料理・食事パターン |
| | B 食生活の変化 | 24139 p689 | a 食行動、食知識、食態度、食スキル b 健康格差 |
| | C 食環境の変化 | 22139 p688, 23139 p690, 25139 別冊p35 | a フードシステム b 食情報の提供 c フードバランスシート（食料需給表） d 食料自給率 |
| | D 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題 | 22140 p96, 23140 p97, 25140 別冊p35 | a 先進諸国の健康・栄養問題 b 開発途上国における健康・栄養問題と地域間格差 |
| | E 公衆栄養活動の実施指針 | 19148 p693 | a 健康づくり施策と公衆栄養活動の役割 b 公衆栄養活動と組織・人材育成 c 食料安全保障 |
| 3 栄養政策 | B 公衆栄養関連法規 | 17148 p696, 20143改 p699, 22141 p694, 23142 p693, 24140 p692, 25141 別冊p36 | a 地域保健法 b 健康増進法 c 食育基本法 |
| | C 管理栄養士・栄養士制度と職業倫理 | 23143 p697, 24141 p698, 24147 p713, 25142 別冊p36, 25147 別冊p37 | a 栄養士法 b 管理栄養士・栄養士の社会的役割 c 管理栄養士・栄養士制度の沿革 d 管理栄養士・栄養士養成制度 e 職業倫理 |
| | D 国の健康増進基本方針と地方計画 | 20005 p706, 24148 p716, 25144 別冊p36 | a 国の基本方針策定の目的・内容 b 基本方針の推進と地方健康増進計画 c 食育推進基本計画策定の目的・内容 d 食育の推進と地方食育推進計画 |
| | E 国民健康・栄養調査 | 23144 p702, 23196 p867, 24143 p702, 25138 別冊p34, 25145 別冊p36 | a 調査の目的・沿革 b 調査の内容・方法 |
| | F 実施に関連する指針、ツール | 19152 p707, 24144 p708, 25146 別冊p37, 25196 別冊p61 | a 食生活指針 b 食事バランスガイド |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|-------------------|----------------------|--|--|
| | G 諸外国の健康・栄養政策 | 22145 p99, 24145 p98 | a 公衆栄養活動に関する国際的な行政組織と活動 b 公衆栄養関連計画 c 食事摂取基準 d 食生活指針、フードガイド e 栄養士養成制度 |
| 4 栄養疫学 | A 栄養疫学の概要 | — | a 栄養疫学の役割 b 公衆栄養活動への応用 |
| | B 曝露情報としての食事摂取量 | 20147 p711, 20193 p865, 20194 p865, 24146 p711 | a 食物と栄養素 b 食事摂取量の変動と測定誤差 c 日常的な食事摂取量 |
| | C 食事摂取量の測定方法 | 15160 p712, 20196 p876, 22147 p713, 23197 p867, 24193 p879 | a 24時間食事思い出し法と食事記録法；秤量法、目安量法 b 食物摂取頻度調査法とその妥当性・再現性 c 食事摂取量を反映する身体計測値・生化学的指標 |
| | D 食事摂取量の評価方法 | 13160 p720, 14163 p719, 21148 p715, 23147 p718, 23198 p884, 24194 p879, 24200 p889, 25199 別冊p62 | a 総エネルギー調整栄養素摂取量 b データの処理と解析 |
| 5 地域診断と公衆栄養マネジメント | A 公衆栄養マネジメント | 22149 p721, 25149 別冊p38 | a 地域診断の意義と目的 b 公衆栄養マネジメントの考え方・重要性 c 公衆栄養マネジメントの過程 |
| | B 公衆栄養アセスメント | 15164 p709, 15165 p722, 19109 p723, 20195 p876, 21188 p873, 21191 p882, 24150 p724, 25148 別冊p38, 25150 別冊p38, 25193 別冊p60, 25198 別冊p62 | a 公衆栄養アセスメントの目的と方法 b 地域診断の方法 c 食事摂取基準の地域集団への活用 d 量的調査と質的調査の意義 e 觀察法と活用 f 質問調査の方法と活用；質問紙法、インタビュー法 g 既存資料活用の方法と留意点 |
| | C 公衆栄養プログラムの目標設定 | 16199 p869, 17156 p726, 18157 p727, 18196 p871, 18197 p872, 21189 p874, 21192 p882, 23150 p725, 23200 p885, 24198 p889, 25194 別冊p60 | a 公衆栄養アセスメント結果からの状況把握 b 改善課題の抽出 c 課題設定の目的と相互の関連 d 改善課題に基づく改善目標の設定 e 目標設定の優先順位 |
| | D 公衆栄養プログラムの計画、実施、評価 | 16200 p869, 20151 p728, 21151 p728, 21190 p874, 21193 p882, 21194 p887, 23195 p867, 23199 p885, 24195 p879, 25195 別冊p60, 25200 別冊p63 | a 地域社会資源の把握と管理 b 運営面・政策面のアセスメント c 計画策定 d 住民参加の方法 e プログラムに関連する関係者・機関の役割 f 評価の意義と方法 g 評価の実際 |

| 大項目 | 中項目 | | 小項目 |
|----------------|---------------------|--|---|
| 6 公衆栄養プログラムの展開 | A 地域特性に対応したプログラムの展開 | 23151 p88, 25151 別冊p39 | a 健康づくり b 食育 c 介護予防・在宅療養・介護支援 d 地域包括ケアシステムの構築 e 健康・食生活の危機管理と食支援 |
| | B 食環境整備のためのプログラムの展開 | 17159 p731, 19108 p730, 20197 p877, 23152 p732, 24152 p812, 25197 別冊p61 | a 食物・食情報へのアクセスと食環境整備 b 栄養成分の表示の活用 c 特別用途食品の活用 d 「健康な食事」の普及啓発 |
| | C 地域集団の特性別プログラムの展開 | 25152 別冊p39 | a ライフステージ別：妊娠期・授乳期、新生児期・乳児期、成長期、成人期、高齢期 b 生活習慣病ハイリスク集団 |

●給食経営管理論

〈出題のねらい〉

- 給食の意義及び給食経営管理の概要についての理解を問う。
- 特定多数人に食事を提供する給食施設における利用者の身体の状況、栄養状態、生活習慣などに基づいた食事の提供に関わる栄養・食事管理についての理解を問う。
- 給食の運営方法とそのマネジメントについての理解を問う。

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|-------------|--|--|
| 1 給食の概念 | A 給食の概要 15171 p737, 24153 p737, 25153 別冊p39 | a 給食の意義と目的 b 健康増進法における特定給食施設 |
| | B 給食施設の特徴と管理栄養士の役割・関連法規 14171 p738, 19164 p736, 19178 p741, 19180 p739, 20156 p735, 21155 p743, 22155 p740, 24154 p738, 25154 別冊p39 | a 医療施設 b 高齢者・介護福祉施設 c 児童福祉施設 d 障害者福祉施設 e 学校 f 事業所 |
| 2 給食経営管理の概念 | A 給食システム 23155 p743, 24156 p744, 25155 別冊p40 | a 給食システムの概念 b トータルシステムとサブシステム |
| | B 給食経営の概要と組織 19169 p665, 19172 p755, 21156 p747, 22156 p745, 23157 p746, 23161 p758, 25156 別冊p40, 25157 別冊p40 | a 経営管理の機能と展開 b 組織の構築と関連分野との連携 c 給食運営業務の外部委託 |
| | C 給食とマーケティング 20160 p748, 21160 p749, 23160 p751, 24158 p750, 24159 p752, 25160 別冊p41 | a マーケティングの原理 b 給食におけるマーケティングの活用 |
| | D 給食経営の資源と管理 17180 p757, 20159 p754, 21157 p753, 21158 p756, 22158 p759, 23158 p753, 23159 p756, 25158 別冊p40, 25159 別冊p41 | a 給食経営の資源 b 給食の原価構成と収支構造 c 給食運営における人的資源 d 給食業務従事者の教育・訓練 |

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|--------------------------|--------------|---|
| 3 栄養・食事管理 | A 食事の計画と実施 | 17167 p763, 18168 p759, 20162 p763, 23162 p742, 23163 p762, 24160 p760, 25161 別冊p42 |
| | B 食事計画の評価、改善 | 15182 p777, 22159 p765, 22161 p765, 23164 p764 |
| 4 給食経営における品質管理、生産管理、提供管理 | A 品質と標準化 | 17169 p766, 17178 p771, 18174 p772, 21162 p769, 21163 p768, 23187 p891, 23188 p891, 23192 p895, 24161 p767, 24162 p773, 25162 別冊p42, 25163 別冊p42 |
| | B 食材料 | 16170 p774, 20166 p775, 21164 p774, 24163 p776, 24164 p775, 25164 別冊p43 |
| | C 生産（調理）と提供 | 20198 p893, 20199 p893, 21166 p781, 22157 p779, 22166 p769, 23166 p778, 23167 p780, 25165 別冊p43, 25166 別冊p44 |
| | D 提供サービス | 16174 p783, 22167 p780, 24166 p782, 25167 別冊p45 |

| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
|------------|---------------|--|
| 5 給食の安全・衛生 | A 安全・衛生の概要と運用 | <p>15181 p794, 17176 p793, 17177 p798, 18177 p804, 18193 p897, 18194 p897, 18195 p897, 20168 p802, 20169 p796, 21167 p810, 21168 p787, 21169 p800, 22168 p801, 22170 p784, 23169 p789, 24167 p792, 24168 p779, 25168 別冊p45, 25169 別冊p45</p> <p>a 給食における HACCP の運用 b 衛生教育；一般的衛生管理プログラム c 大量調理施設衛生管理マニュアル d 安全・衛生のための施設と設備</p> |
| | B 事故・災害時対策 | <p>15169 p811, 18178 p806, 20170 p785, 20200 p893, 21196 p900, 21197 p900, 21198 p900, 22199 p899, 22200 p899, 23168 p809, 23170 p807, 23193 p895, 23194 p895, 25170 別冊p46, 25190 別冊p57, 25191 別冊p58, 25192 別冊p59</p> <p>a 事故の状況と対応：食中毒、異物混入、誤配膳、食物アレルギー対応 b 危機管理対策；インシデント、アクシデント管理の意義 c 災害時の給食の役割と対策の意義 d 災害時のための貯蔵と献立</p> |

●応用力試験

〈出題のねらい〉

○個人又は集団のライフステージ、ライフスタイル、身体状況、栄養状態、食環境等の状況を踏まえ、管理栄養士として、多職種連携による栄養ケア・マネジメント等を実践する上で必要とされる知識、思考・判断力を問う。

○地域診断に基づき、社会資源を有効活用し、食環境整備等のアプローチも含めて地域の栄養課題の解決を図る上で必要とされる知識、思考・判断力を問う。

| 大項目 | 中項目 |
|--------|---|
| 1 栄養管理 | A 個人の身体状況、栄養状態及び病態に応じた適切な栄養補給、食事に関するマネジメント |
| | B 特定の集団や地域における人々の健康・栄養状態や社会資源に応じた適切な食事や食生活の支援に関するマネジメント |

※マネジメントとは、アセスメント、計画、実施、モニタリング、評価、フィードバックのいずれかの過程の状況に関することとする。